



八雲

学校だより5月号

令和8年 4月 30日

目黒区立八雲小学校

自主性や主体性を伸ばす教育活動の実現を目指して

副校長 坪田 寛

4月を終え、校庭の鯉のぼりと一緒に八雲小学校の子どもたちは元気いっぱい活動しています。本年度は、「自ら学び、ともに育つ」子どもを育成するために、学校生活の中で様々な取組を行っています。昨年度から子どもの自主性や主体性を育成するために取り組んでいるマイプランの活用場面では、子どもたち一人ひとりが、一週間の予定を事前に把握することで、めあてをもって行動し、一週間の学校生活をマネジメントする場面が多く見られました。特に6年生は、校旗当番や1年生のお世話などの予定を自ら記入し、工夫して行動する児童もたくさんいました。



また、1年生を迎える会では、昨年度の計画委員会を中心に、1年生と2年生から6年生が楽しく交流できるように、準備や計画を進め、全校児童が協力し合うことができました。八雲小全体が温かな気持ちに包まれる素敵な会でした。

今後も、八雲小学校の児童一人ひとりが、発達段階に応じて、自主的、主体的に学び、行動できるよう、話し合い活動を工夫したり、子ども自身が考え取り組めるよう特別活動を充実させたりすることをすすめていきます。



さらに、今年度は、保護者・地域の方にも情報発信をさらにすすめていけるよう努力していきます。Home&Schoolを活用した情報発信を強化したり、4月に学校公開を行うことで、学校の様子を知っていただいたり、個人面談を5月に行うことで連携を密にできるようにしたりしています。地域の方々にも、学校の取組の意図やねらいを明確にした情報発信をすすめていきたいと考えています。学校の様子や子どもたちの様子を直接お伝えできる機会を作っていきたいと考えています。

5月には、5年生6年生の自然宿泊体験教室も控えています。子どもたちが自主的自発的に行動し「自ら学び、ともに育つ」子どもの育成を目指して教職員一同努力していきます。ご理解・ご協力よろしく申し上げます。

心を育む八雲小学校

特別活動主任

八雲小の特別活動では「人として大切な心を育み、想いを正しい行動で表せる児童」を目指し、今年度は、各学年・くみの発達に応じた学級活動や奉仕活動に力を入れていきます。

まずは、5・6年生中心の委員会活動において、「八雲小みんなの学校生活をより良くするために。」を合言葉に活動内容を考え始めています。子どもたちからアイデアを出し、計画実行する中で、新しいアイデアが溢れ活動をより発展させていく予定です。

また、学年・くみでも、同じ合言葉で、自分たちができる奉仕活動について考え、計画実行をしていきます。

一つ一つは小さい活動かもしれませんが、これらが互いを巻き込み、大きな渦になって広がっていくことで、八雲小の特別活動が充実していけばと思います。

そして、自分たちで学校をより良くしていく経験を積み重ね、「八雲小学校」で心を育み、それぞれの未来へとつなげていってほしいです。

I'm OK. You're OK.

生活指導主任

1か月が過ぎ、子どもたちは新しい学級や友達関係にも少しずつ慣れてきました。その一方で、関わりが増えるこの時期は、思いや言葉の行き違いから、トラブルが起こりやすくなる時期でもあります。こうした経験は、相手の気持ちを考えたり、自分の思いを伝えたりする力を育てる大切な機会でもあると捉えています。また、学校生活の基盤となる「決められた時刻に登校すること」も引き続き大切にしています。

生活のリズムを整えることは、安心して学習や友達関係に向き合う土台となります。

ご家庭での声かけにもご協力をお願いいたします。

生活目標「自分の役割に責任をもって取り組もう」
係活動や当番、学級での役割に主体的に関わり、自分の行動に責任をもつ姿を育てていきます。